

会 議 録

| | | | | |
|--------------|---|---|----|--|
| 会議の名称 | 守谷市図書館協議会（令和5年度 第2回） | | | |
| 開催日時 | 令和5年10月19日（木） 開会：10時00分 閉会：11時30分 | | | |
| 開催場所 | 守谷中央図書館 3F 視聴覚室 | | | |
| 事務局（担当課） | 教育委員会 中央図書館 | | | |
| 出席者 | 委員 | 長谷川委員長、野口副委員長、井上委員、赤堀委員、川畑委員、藤平委員、赤山委員、堀越委員、広永委員、岡田委員 (出席：10名) | | |
| | その他 | | | |
| | 事務局 | 平塚館長、柳葉副館長 | | |
| 公開・非公開の状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 | 1人 | |
| 公開不可の場合はその理由 | | | | |
| 会議次第 | 1 開会 2 挨拶 3 協議内容 (1) 令和4年度事業実績評価について (2) 令和5年度上半期事業実績について (3) 第3回図書館協議会「視察研修」について (4) その他 4 閉会 | | | |
| 確定年月日 | 会議録署名 | | | |
| 令和5年 月 日 | 委員長 | | | |

審 議 経 過

1 開 会

柳葉副館長 10名の委員が出席、守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者は2名。

2 挨拶 長谷川委員長

3 協 議

(1) 令和3年度事業実績評価について

長谷川委員長：協議（1）の令和4年度事業実績評価について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から説明—

令和4年度事業実績評価（案）に基づき説明。

長谷川委員長：ご意見、ご質問のある方はお願いします。

赤堀委員：2頁にて、自己評価【中央図書館との連携による学校図書館の充実】において、「購入ではなく、図書館資料の相互利用により対応するという判断がなされた資料が前年度を上回ったものです。」と記載されています。

これは学校図書館図書室の貸出冊数のことを指しているのですか。

平塚館長：児童・生徒の個人貸出用で、各図書室において、貸出を行った冊数です。

赤堀委員：3頁の自己評価の「ボランティア連絡会は通常2回」と記載されていますが、令和3年度の実績では、0回となっています。どちらが正しいのでしょうか。

平塚館長：令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止になりました。しかし、コロナ禍以前は、通常2回実施しておりましたので「通常2回」と表記しました。

赤堀委員：「老いも若きも読書会」による読書会が新規事業で行われたとのこと。例えば、新規事業とは、個人で読書会を実施したい時でも可能なのですか。

平塚館長：個人での活動は、認められません。「老いも若きも読書会」の方々には、グループとして図書館ボランティアの団体登録をしておりますので、市民向けに読書会を開催していただきました。

赤山委員：2頁の自己評価において、小・中学校へブックパックの貸出を実施したとのこと。ブックパックの実績の記載が無いので、実績等を記載した方が良いのではないかと思います。

また、3頁の自己評価において、ボランティア登録数とボランティア数と表記しているところ等、上段の実績と下段の評価の記載については、統一した方が良いと思います。

さらに、学校図書司書の研修会の実績を入れた方が良いと思います。評価できる指標がたくさんあった方が良いので、今後の記載方法について検討願いたい。

平塚館長：検討します。

長谷川委員長：2頁の「ALTによる英語のおはなし会」について、おはなし会はどういう形式で行われていたのでしょうか。

平塚館長：特に、年齢制限や段階に分けての実施はしていません。また、座って物語を語るような形式ではなく、体を使った動きのあるおはなし会が行われていました。

野口副委員長：全体的によくまとまっていると思いますが、4頁の電子図書館について、閲覧数が減少しており、原因が、購入費の一部を電子雑誌に充てたことによるものとのこと。電子図書館閲覧数の実績が伸びているのであれば、図書と雑誌を合わせ、表記についても、閲覧数より貸出数の方が分かりやすいと思います。

平塚館長：承知しました。

赤山委員：5頁の「研修への参加回数」について、実績（回数）が同じではあるが、研修内容が違うと思うので、すべてを記載する必要がないが、主なものでも良いので、記載してほしい。

平塚館長：検討します。

（2）令和5年度上半期事業実績について

長谷川委員長：協議（2）令和5年度上半期事業実績について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から説明—

「令和5年度上半期事業実績」に基づき説明。

川畑委員：これから、お年寄りが増えていく中、図書館に来たくても来られない人いる。図書館では、本や雑誌を届けるサービスがあり、このようなサービスをもっとPRして利用してもらうようにできないか。

平塚館長：図書館が行っているサービスは、障がいをお持ちの方を対象にしたサービスであり、利用者は現在3名です。この先、このサービスを拡充することは、現在の職員の人員では、正直きびしいと考えます。

川畑委員：中には、知らない方がいるかもしれない。今後も情報の周知は、続けて行ってほしいです。

平塚館長：承知しました。

藤平委員：現在、おはなしボランティアで活動していますが、人数がかなり減ってきている。おはなしボランティア養成講座を実施しているが、これからも継続して行ってほしい。

平塚館長：これからもおはなしボランティア養成（講座）と育成（講座）についても、継続して実施していきます。

川畑委員：「わんちゃんと読書」について、始めたきっかけを聞きたい。

平塚館長：既に市民活動支援センターにおいて、実施していました。趣旨をお聞きして、図書館と協働で行えるのではないかと思います、実施に至りました。

野口副委員長：犬に読み聞かせを実施している事例は、世界の図書館では、数多くあります。

野口副委員長：電子図書館の使い方講座は、どこで実施したのですか。

平塚館長：中央図書館です。

野口副委員長：中央図書館以外の方が集まる場所の方が、新規登録者が増えるのではないかと思います。また、電子図書館の「児童用の読み放題パック」を導入しているのであれば、学校での利用促進を図るため、学校司書研修において「使い方講座」を行って見たら良いのではないかと。

柳葉副館長：承知しました。

堀越委員：まだ、学校においては「ADEAC」の存在を知らない先生方が多いようです。周知はされているようですが、学校側に、もっと「ADEAC」を有効活用してもらえるよう周知をお願いしたい。

平塚館長：承知しました。

井上委員：先日、中学2年生では、「いばらき郷土検定」の市町村大会が実施されました、そこでは、守谷市に関する出題が多かったため、ADEACにおいて、守谷市の有名人や著名人が分かるようなコンテンツ等があれば、もっと閲覧回数が増えるかもしれない。

平塚館長：承知しました。

（3）第3回図書館協議会「視察研修」について

—柳葉副館長から説明—

「埼玉県飯能市立図書館視察」の概要について説明。

長谷川委員長：視察研修では、「カーリルタッチ」など、最新のサービスについて学ぶいい機会になると思います。

（4）その他

—柳葉副館長から説明—

前回（第1回）の協議会にて報告した「令和5年度図書館概要」について、指摘等の修正箇所の報告。

—意見なし—

4 閉 会

柳葉副館長：それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。